

神の国の奥義(16)

=人となられた神①=

御言葉:ヨハネ1:1-18

- ① 言(ロゴス)が人となった(幕屋を張った)→神と人の架け橋(1 テモテ 2:5;ヘブル 8:6)
- ② 万物は言によって成った(ヨハネ 1:10;ヘブル 1:2-3)
- ③ 言の中に人を照らすいのち(Zoe)があった(ヨハネ 10:10,1:9;詩篇 56:13)
- ④ 闇の中で輝く光を、闇は理解しない・捉えることができない(5 節;1 コリント 2:14)→御霊の照明の必要性(1 コリント 2:13;ローマ 12:2)
- ⑤ 拒絶される言(11 節);受け入れる者は神の子となる(12 節)
- ⑥ 幕屋となった言に栄光と恵みと真理が満ちる(14 節;1 コリント 2:12)→私たちが恵みの受信機であり発信機となる(2 コリント 4:15)
- ⑦ 恵みに次ぐ恵みを受ける(16 節)
- ⑧ 律法はモーセにより、恵みはキリストにより(17 節)→アブラハムの約束の成就(ガラテヤ 3 章)
- ⑨ 唯一神を証した者(18 節;1 テモテ 6:16)

■暗証聖句

1:1 初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。

1:3 万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかった。

1:4 言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。

1:5 光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかった。

1:12 しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。

1:14 言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。

1:16 わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。

1:17 律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。

1:18 いまだかつて、神を見た者はいない。父のふところにいる独り子である神、この方が神を示されたのである。